太平中

学校だより

令和８年11月25日
第５０６号
（令和８年度 第７号）

相手の心を動かす想像力
～考えや気持ちのちがいに気付こう　ちがいを想って、動こう　心によりそう言葉を選ぼう～

札幌市立太平中学校
北区太平８条２丁目
TEL　７７２－７９６１
FAX　７７２－５９３７
https://www.taihei-j.sapporo-c.ed.jp/

文部科学省

「全国学力・学習状況調査」の結果について

日頃より、本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、４月 23 日（木）と５月１日（金）に実施した全国学力・学習状況調査の結果について報告いたします。

調査の目的

① 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
② 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

調査結果は学校における継続的な改善サイクルに生かされています。

今年度の調査結果はすでに文部科学省より公表されており、本校生徒にも個人票として一人一人に通知されております。その結果をもとに、本校におきましても、生徒の学習状況や調査結果を分析し課題や改善方法についてまとめましたので、その内容をお知らせいたします。

なお、学校間の序列化や過度の競争を避ける意味から、札幌市では学力に関する具体的な数値結果は公表しておりません。学習状況調査につきましても、全国や北海道と比較した数値の公表は行いませんのでご了解ください。

本調査に関わるお問い合わせにつきましては、太平中学校教頭、または教務担当（田畑）まで御連絡ください。今後とも本校教育への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

（太平中学校　TEL　772 - 7961）

【 国　語 】

本校の概要	今回の調査における課題等	改善の方向
【領域】 □「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。	○漢字の構成要素である「へん」や「つくり」などに注目し、字形を正しく捉えたり読みを類推したり、大まかな意味を捉えたりすることが効果的。
□「情報の扱い方に関する事項」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。	●情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことはできている。	
□「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を下回っている。	●相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること。	○聞き手の反応を踏まえて話の受け止め方や理解の状況を捉え、相手に分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す活動の充実。
□「書くこと」 ・全国平均とほぼ同程度である。	●表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ、よい点や改善点を見いだすこと。	○自分の文章を振り返り、次に書く活動に生かすかを考えることが重要
□「読むこと」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすること。	○文章の構成や展開について自分の考えをまとめる際に、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などを挙げる活動の充実。

【 数　学 】

本校の概要	今回の調査における課題等	改善の方向
【領域】 □「数と式」 ・全国平均を下回っている。	●事柄が成り立つ理由を文字を使って説明するための方針を立てること。統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること。	○数の性質について、既に成り立つことが分かった事柄を基にして、条件を変えた場合について成り立つ事柄を予想し、事柄がいつでも成り立つことを数学的に説明できるようにする。
□「図形」 ・全国平均を下回っている。	●具体的な事象において、考察の対象となる角を的確に捉えること。	○図形の性質を証明する場面において、証明する事柄の仮定と結論を明らかにする場面を設定すること。
□「関数」 ・全国平均を下回っている。	●反比例の関係を表す表の特徴を捉えて、ｘの値に対応するｙの値を求めること。	○表、式、グラフを関連付けて反比例における変化や対応の特徴を捉えることを通して、反比例についての理解を深めること。
□「データの活用」 ・全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。	●起こりうる場合を樹形図や二次元の表を利用するなどして整理し、確率を求めること。	○データの分布の傾向を捉える活動を通して、累積度数の意味について理解すること。

【 英　語 】

今回の調査における課題等	改善の方向
●日常的な話題について、話を聞き、概要を捉えること	○聞き取った情報や、情報と情報の関係、展開を表す表現などから場面の移り変わりを整理すること
●日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えること	○文と文との関係を捉え、段落内の情報と情報との関係、段落と段落の関係などの文章全体の構成を理解すること
●社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くこと	○文章を読んで要点を捉え、自分の考えとその理由をキーワードとしてメモなどに整理すること
●日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すこと	○ペアでやり取りを行った後、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じてやり取りをするための視点や必要な表現を共有し、相手を変えて再度やり取りを行うなど

質問紙の解答に見られる太平中生徒(3年生)の特徴

Ⅰ．全国と比べて、肯定的な回答が多いもの

質　　問　　内　　容	
36①	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器で文章を作成する（文字、コメントを書くなど）ことができると思いますか
36②	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する（検索する、調べるなど）ことができると思いますか
36③	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って情報を処理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか
36④	あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか
48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどの ICT 機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできていますか
52	国語の勉強は得意ですか
53	国語の勉強は好きですか
54	国語の授業の内容はよく分かりますか
70	英語の勉強は好きですか
71	英語の授業の内容はよく分かりますか

Ⅱ．全国と比べて、肯定的な回答が少ないもの

質　　問　　内　　容	
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか
62	数学の授業の内容はよく分かりますか
64	1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていましたか
66	1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていましたか

Ⅲ．太平中生徒の特徴から

今回の調査は3年生に進級したばかりの4月段階での調査の結果・分析となります。すべての生徒に当てはまるものではありませんが、子どもたちの共通の傾向として捉えることもできると考え、指導につなげていきたいと思います。

Ⅰ（肯定的な回答が多いもの）の 29④から、学びの質を高め、「学ぶ力」を育成することを目的に ICT を効果的に活用してきた成果が表れてきています。今後も授業等での ICT の活用を推進していきたいと思います。また、Ⅰ（肯定的な回答が多いもの）の 52・53・54・70・71 とⅡ（肯定的な回答が少ないもの）の 62・64 から、教科によって、学習の好き・嫌いや得意・不得意に差があることがわかりました。今回、調査を行った教科だけでなく、すべての教科において、苦手に対して分かるまで粘り強く学ぶことができるよう、今後もこれまで以上に学習指導の工夫・改善を図るとともに、一人一人を大切にした学習支援を行っていきたいと思います。

その他、Ⅱ（肯定的な回答が少ないもの）の2・3から毎日規則正しく生活を送れているとは言えないと自覚している生徒が多いことがわかりました。整った生活習慣の確立に向けて、引き続き、ご家庭とも連携しながら考えていく必要があると感じています。

今回の調査・分析を生かし、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう、教育活動のさらなる質の向上を図っていきたいと思います。今後も保護者や地域の皆様の御協力と御協力をお願いいたします。